

# 倉元 たつお



# 倉元 たつお

福岡市議会議員 [城南区]



物価高騰から暮らしを守る  
地域に役立つ議員  
大型開発の脱却  
使い方のチェック  
教育を  
暮らしを守る  
立つ議員  
発から  
税金の  
厳しく  
子育て  
応援!

## 生活相談

倉元携帯090-3604-3121

- 毎月第1金曜日 18時30分  
六ヶ町会館(別府5-4-8)
- 毎月第3水曜日 19時  
倉元事務所(長尾1-16-19)
- 奇数月第2木曜日 19時  
東油山町会館(東油山4-1-8)



## 相談事例

- ▶ 高齢になり体が思うように動かせなくなり、続けていたパートを辞めざるをえませんでした。倉元さんに相談すると区役所まで同行してくれ生活保護を利用できるようになりました。
- ▶ 障害児が通う学校施設の保護者控え室のモニターが壊れていることを倉元さんに伝えると、すぐに市に働きかけてくれて新しいモニターが設置され、子どもの様子がよくわかるようになりました。



【こんにちは城南】 2022年号外【議会報告】  
発行：日本共産党福岡市議団 電話 711-4734 FAX 741-4627  
倉元たつお市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。



Twitterのフォロー・LINE公式の登録をお願いします  
 

・経済振興委員会委員  
(経済観光文化局、港湾空港局、農林水産局)  
・交通対策特別委員会委員。  
・大都市財政制度確立推進協議会会長  
・議会運営委員会委員(理事)

1999年福岡市議会議員選挙 初当選。現在、5期目。  
 キューサイ株式会社で食品開発に従事。  
 1967年福岡市生まれ、55歳。宗像高校から福岡大学文学部文化学科卒。

## profile

# 困っている人に手を差し伸べる。

みなさまに市議会に送り出していただき、「困っている人に手を差し伸べる」をモットーに議会質問、調査、相談活動に力を尽くしてきました。生活相談では、ほぼ毎日、貧困、失業、DV、住宅、教育などさまざまな問い合わせが寄せられ解決のために走り回っています。しかしながら、福岡市はこうした市民の暮らしに寄り添っているとはいえない状況です。私の議席は、そうしたみなさまの思いを叶える議席です。



相談から市議会の質問へ。  
 ● 高齢者の補聴器の補助を  
 求める(22年3月、19年10月)  
 ● 事業復活支援金の無料支援  
 (21年12月)  
 ● 消えかけた横断歩道の  
 改善(20年9月)  
 ● 幼稚園類似施設の無償化  
 (19年9月)

# 倉元 たつお



# ズバリ切り込める！

## 市政の問題点に

### 大型開発から暮らしを直接支える

倉元市議は、地域に役立つ議員です。消えかけた横断歩道、道路の修繕、水たまりの改善、河川の草刈り、荒江団地の建て替え問題など、身近な声を行政に届けてきました。しかし、倉元市議の活動で他党・他会派に絶対にマネができないのは、住民の願う立場で、高島市政の大もとの問題点にズバリメスを入れ、切り込んでいくことです。それは、大企業優遇や大型開発をやめるときっぱりモノを言い、暮らしと福祉、いのちを優先の政治をめざす日本共産党の議員だからです。

### 友泉中など過大規模校化 子どもたちの学びが犠牲に

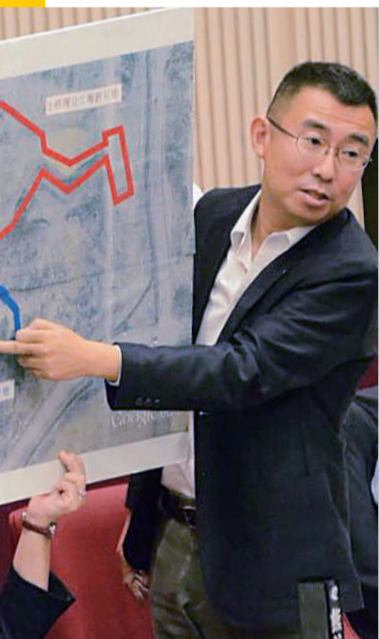
生徒数が1003人の過大規模校「友泉中学校」は、教室がすべて埋まっており、特別支援教室の1クラスは床面積が基準以下の、教室として使うべきでないプレハブに入れられています。倉元市議は、特別教室が足りずに理科室で美術の授業を行っていること、さらには、進路指導や生徒指導室などは用具や備品があるプレハブの一角に追いやられている実態を告発。改善を求めるとともに、大もとはマンションの開発を全く規制しない高島市政のやり方があることを指摘し、他の市で行われているように規制に踏み出すべきだと提案しました。



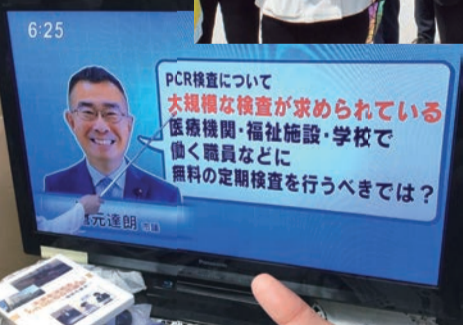
教室が足りずに倉庫と雑室が混同(友泉中)

### 七隈川の水害対策 河川整備・ハザードマップの検討を約束させる

倉元市議は質問で、1999年6月の豪雨被害をもたらした七隈川について、いまだに未整備部分が残されていることを質問。専門家の「たまたま雨が降っていないだけ。いつあふれてもおかしくない」という見解を紹介し、早急な整備を求めました。また、七隈川流域のハザードマップは何も危険がないかのように「真っ白」になっていると指摘し改善を求め、市は、河川の整備やハザードマップへの反映について検討していくと答弁しました。さらに倉元市議は、防災に有効な一時貯留施設を福岡大学につくことを大学側に促してはどうかと提案しました。



福岡空港内にある米軍基地の土壌汚染を調査



PCR検査について  
大規模な検査が求められている  
医療機関・福祉施設・学校で  
働く職員などに  
無料の定期検査を行うべきでは？

### インボイス中止を国に求めよ！—福岡にも大きな影響

倉元市議は、インボイス導入で、中小業者やフリーランスの倒産・廃業が出てくると告発。年収255万円でも26万円もの消費税が徴収される建設業者からは恨みや嘆きの声があがっていると訴えました。また、シルバー人材センターも1億4千万円もの消費税が徴収されれば、経営が成り立たなくなると指摘。市として国にインボイス制度中止を求めるよう迫り、さらに他の野党と共同して意見書も提案しましたが、自民党・公明党などの反対で否決されました。



倉元たつお市議は今期、経済振興委員として仕事をしてきました。高島市政の経済政策は大企業が喜ぶビジネス(天神ビッグバン、ウォーターフロント再開発など)を優遇し、もうけが見込めそうな一部の企業への応援に偏っています。しかし、福岡市の企業の99%は中小企業です。中でも小企業(従業員5人以下)は6割を占め、個人事業主は2万人に及んでいます。ここが福岡市経済の主人公です。倉元市議は、こうした福岡市経済の主人公である町の小さな業者に仕事が回る提案を心がけてきました。

### コロナ禍での市内業者への 支援金が実現

コロナによって市内の中小業者の営業が追い込まれる中で、倉元市議と日本共産党は10回にわたって市長などに申し入れを行い、さらに議会でも、市長の予算に組み替え動議を提案しました。こうした結果、全国に先駆けて、中小零細業者に対して、市独自の家賃支援金がつくれ、これ以外にも国・県の対象から外れた業種への支援金などが実現しました。



市長に申し入れ

### 小さな業者が差別・排除される しくみを改善させる



コロナ禍における建設職人の状況を調査

コロナ禍での支援制度は、大きな業者団体に所属していない中小零細業者には、「事前確認」手続きが必要とされ、商工会議所や金融機関からは「会員でない」「取引先ではない」と断られ、税理士などに依頼する手数料が重いと多数の相談が寄せられていました。倉元市議は「事前確認」の無料化を提案。市は「無料で支援していく」と新しく制度を創設しました。また、市のプレミアム付商品券事業は、商工会議所の会員以外は3%の手数料が発生するため倉元市議は「なぜ同じ市内の事業者で差を生じさせるのか。その分を市が支援すべき」と求め、手数料が引き下げられました。

# 中小業者を守ってこそ 経済発展

### 省エネを小さな業者の 仕事づくりに 脱炭素対策は地域経済を元気にする



市議団幹事長として市政報告を行う

倉元市議は、「市の公共事業を地場の小さな業者に回して、地域経済を元気にすべきだ」という提案を行ってきました。学校教室へのエアコン設置では、PFI(民間に工事や維持を任せる)方式で3~4割は市外の業者に発注されていた事実を明らかにし、この方式では賃金や安全コストが安く叩かれる危険性があると指摘し、地場中小業者の直接施工で仕事を回すよう要求しました。

### 脱炭素で3,600億円の経済効果

また倉元市議は、福岡市の「脱炭素対策」で「3,600億円の経済効果」「2万人以上の雇用効果」との専門家のレクチャーを議会で紹介。特に断熱の住宅リフォームで高い省エネ効果があるとして、市独自の抜本的な補助金の拡充で、市内の中小業者の仕事づくりをと提案しました。この提案に、市内の中小業者団体から強い期待の声が寄せられ、団体とともに市に充実を要望しました。

地域に仕事が  
回る提案に  
こだわって